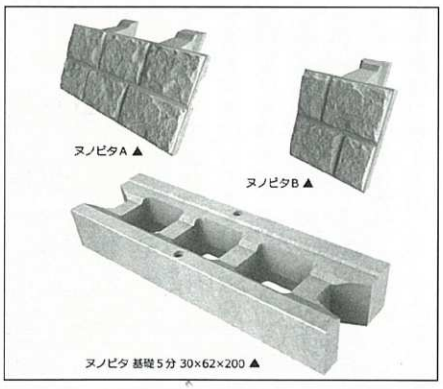
NETIS NEW FACE

プレキャスト製大型の積みブロックを用いたコンクリートブロック積工 ヌノピタ

登録日 2020.8.26　登録番号（KK-200032-A）



草竹コンクリート工業（本社、奈良市南京終町，社長＝草竹晃司氏）が開発した「ヌノピタ」は，河川・道路・宅地造成工事等の擁壁工に使用するプレキャスト製大型積みブロック（0.5㎥/個），基礎ブロックの製品技術。積みブロックを大型化し，控が水平状態で５分勾配に自立するブロックとした。基礎コンクリート，天端や延長の調整部分に使用する壁面型枠もプレキャスト化した。

ブロック同士が凹凸状に咬み合って容易に位置決めでき，控が水平状態で５分勾配に自立するので勾配が定まり易く施工性も向上する。基礎コンクリートや壁面型枠のプレキャスト化で型枠の組立・撤去が不要となり，工程短縮と経済性向上に寄与する。ブロック表面が明度６以下、輝度の標準偏差11以上で，壁面に表情豊かな陰影が生まれ周囲の自然景観に馴染む。

問い合わせ，営業部，電話 0742(50)5050，FAX 0742(50)2828

高収益輸出案件 終了で減収減益

エスイー、第１四半期

エスイーの２０２１年３月期連結決算第１四半期は、売上高48億８５００万円（前年同期比12・５％減）、営業利益１億５６００万円（同53・１％減）、経常利益１億６１００万円（同49・９％減）、四半期純利益８１００万円（同34・７％減）だった。

主力の建設用資機材事業は売上を伸ばしたが、利益率の高いケーブル製品の輸出案件が前年で終了し減益。建築用資材は、セパレーターや吊りボルトなどの建築金物分野が、新型コロナウイルス感染拡大に伴う工事中断の影響を受けた。

コンクリート製品を含む建設用資機材の製造・販売事業は売上高24億２８００万円（前年同期比０・５％増）、営業利益１億４３００万円（同17・７％減）だった。

建設関連事業 好調で増益

高見澤、６月期決算

高見澤の２０２０年６月期連結決算は、売上高６２５億１９００万円（前年同期比２・８％減）、営業利益10億７７００万円（同７・８％増）、経常利益13億７６００万円（同33・７％増）、当期純利益８億１４００万円（同30・４％増）だった。

建設関連事業が好調で、主力の電設資材事業も売上は横這いながら、仕入れコストの削減効果で営業利益は２桁増益。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたカーライフ関連事業や住宅・生活関連事業の業績を補った。建設関連事業は売上高１１８億１８００万円（前年同期比18・９％増）、営業利益３億８０００万円（同３・１倍）。民間大型工事への建設資材販売が好調で、公共工事も防災減災関連工事や台風災害復旧工事へのオリジナル製品納入が順調だった。

次期は売上高６３２億円（20年度比１・１％増）、営業利益９億円（同16・５％減）、経常利益11億円（同20・１％減）、当期純利益７億円（同14・０％減）を見込む。

コンクレタスに 社名を変更

コンクリートライセンス機構

コンクリートライセンス機構（社長＝池永征司氏）は、社名をコンクレタスに変更し、本社を移転した。事業の主体をライセンス販売から自社開発のコンクリート製品販売に移す。

新住所は〒８７０―１１３３大分市大字宮崎一三八四―一、工藤ビル。電話０９７（５８５）５８３０、ＦＡＸ０９７（５９４）１３４０。